

子育て支援の充実

子育ての切れ目ない経済的支援や多様で質の高い保育の提供に加え、子育てにやさしい環境の充実を図り、地域全体で子育てを応援します。

①子育てのための経済的支援

～結婚から子供が健やかに育つまでの間、
切れ目ない経済的な支援を総合的・継続的に推進～

日本子育て大賞 **受賞** R5 **東北初**
共働き子育てしやすい街
2年連続 東北**1**位

結婚新生活

市独自

- 結婚新生活応援
 - ①住宅スタートアップ支援(所得制限なし)
・初年度15万円)
 - ②家賃支援
・2年間
・最大年24万円
 - ③住宅取得・リフォーム支援
・最大30万円

妊娠～出産期

- 妊娠届時
5万円給付
- 市独自**
○ 妊婦健診15回無料
- 市独自**
○ 新生児聴覚検査無料
- 出生時
5万円給付
- 出産育児一時金
50万円給付

乳幼児期

市独自

- 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の34%を支援

市独自

- 0～2歳児の保育料を
国基準額から軽減

市独自

- 第2子の保育料1/2
第3子以降は無料
(所得制限・年齢基準なし)

- 幼児教育・保育の
無償化

小学校

市独自

- 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の47%を
支援

市独自

- 拡** 放課後児童クラブの
利用料を軽減
・第1子(低所得世帯)
2,000円
・第2子 2,000円
・第3子以降
4,000円

中学校

市独自

- 福島型給食
・質の高い給食
・給食費の42%を
支援

高校

市独自

- 奨学資金
支給制度
・年5万円



福島型給食

市独自 国民健康保険税軽減(未就学児、18歳以下の第2子以降 均等割全額減免)

市独自 子どもの医療費18歳まで全額無料(窓口無償化)

拡 児童手当 月額1万円～第3子3万円、高校生まで、所得制限なし(R6.10～)

子育てと教育で選ばれるまちづくり

子育て支援の充実



【えがお条例基本理念】

- ①1人の人間として尊重
- ②自己肯定感が育まれる
- ③社会生活能力の習得
- ④個性や可能性を伸ばす
- ⑤地域社会の連携協力

②保育の質の向上

- ▶特色ある幼児教育・保育の推進（豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を応援。）
- ▶市立幼児教育・保育施設の再編（市内4区分し拠点整備。老朽施設の統廃合と民間移行等）
- ▶（仮称）もりあい認定こども園整備（モデル的拠点。病児・休日保育、民間への研修等実施、R8開園予定）

③多様な保育の提供

- ▶こども誰でも通園制度（R7.7本格スタート。未就園児の定期的な預かり）
- ▶休日保育（私立1施設、公立1施設）
- ▶病児・病後児対応型保育（3施設。病児・緊急時の子ども預かり）

④子育て環境の整備

こどもの居場所・遊び場「こどもベース」づくり

- ・こむこむ館全面リニューアル着手
- ・学校施設を活用した居場所づくり

▶こどものえがお条例

▶放課後児童クラブの運営拡大

R2:84クラブ⇒R7:98クラブ、待機児童R2:23人⇒R7:2人

▶子ども医療確保

小児科6カ所の新設支援、夜間休日急病センターに休日小児科開設(R6.7)、
オンライン診療、適正受診の啓発

▶乳幼児健康診査の拡充（1カ月個別健診を追加）

▶こども家庭センターの前倒し設置（子ども、妊産婦、子育て世帯の総合相談窓口）

▶子育て支援アプリの機能拡充（妊娠届出、検診予約、問診票登録）

▶子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援 ▶子ども食堂運営支援 ▶新婚・子育て世帯向け住宅の提供



特色ある
幼児教育・保育

子育てと教育で選ばれるまちづくり

子育て支援の充実

⑤待機児童解消 ～官民連携の待機児童対策推進パッケージ～

I 保育の受け皿の拡大

- ・**保育定員 140人増** (R2.4⇒R6.4)
- ・AI活用による入所実現 (R7.4実績:58人)
- ・企業主導型保育施設 2施設51人増 (R2.4⇒R6.4)
- ・幼稚園送迎ステーション (R6:2カ所に設置)
- ・私立幼稚園預かり保育支援 (R7.3利用547人、R7:8施設)
- ・保育アテンダント (入所マッチング専任相談員2名配置)
- ・私立保育所施設の改築支援 (R7:2施設85名増)

II 保育士の確保

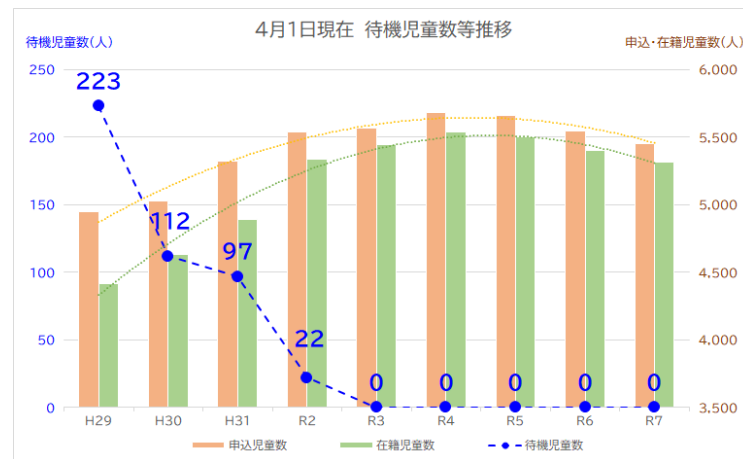
- ・**保育士雇用 257人増** (R2.4⇒R6.4) ※認可保育施設
- ・保育士等奨学資金貸付 (R6:75人 無利子・返還減免)
- ・保育士するなら福島市！プロモーション (保育士体験等)
- ・保育人材バンク (R6:就労65人 潜在保育士の就労支援)
- ・UIターン保育士就労支援 (R6:就労1人)
- ・保育士宿舍借上げ支援 (R6:17施設)
- ・保育士等の処遇改善

III 保育の質の確保

- ・保育の質ガイドラインを踏まえた研修会
- ・保育支援員雇用支援 (R7:44施設)
- ・ICTを活用した保育業務支援システムの運用

待機児童 5年連続 **0!!**

対R2 **△22人**



保育士プロモーション動画